

【別紙2】

「金属×材料×加工 技術支援ネットワーク」キックオフセミナーについて

【開催日時】平成28年11月28日（月）14:30～17:00

【開催場所】名古屋大学 法政国際教育協力研究センター
アジアコミュニティフォーラム

<http://cale.law.nagoya-u.ac.jp/access/index.html>

【主催】名古屋大学協力会、中部経済産業局

◆セミナーご参加については、下記の名古屋大学協力会の登録サイトに必要事項を入力の上、お申し込みください。

<http://www.aip.nagoya-u.ac.jp/industry/about/event/detail/post-29.html>

【開会挨拶・本事業の趣旨】14:30～14:40

名古屋大学 未来材料・システム研究所

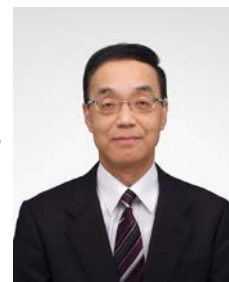
未来エレクトロニクス集積研究センター 教授 宇治原徹

【講演1】14:40～15:30

「ものづくり中小企業支援の必要性と連携事例」

中部大学 工学部 機械工学科 教授（名古屋大学名誉教授） 石川孝司

高等教育機関における金属、加工関連の学科・研究室は減少の一途をたどっていることから、このままでは我が国素形材産業の将来を担うエンジニアの輩出はますます困難になり、また、日本の素形材分野を支えている中小企業の頼るところも減少してくる。このような傾向が続けば、ものづくり基盤産業の技術革新に繋がる研究開発への展開が行われず、我が国素形材産業の国際競争力の強化に遅れを生じることが危惧される。本講演では、現状の技術支援について人材育成をからめて考えてみたい。



【講演2】 15:40～16:30

「新しい金属造形プロセスにおける企業との連携事例」

名古屋大学 大学院工学研究科 マテリアル理工学専攻 教授 小橋眞

本講演では、NEDO 事業やサポイン事業を通じた県内の企業との連携事例（2件）について述べる。1件目は輝創(株)、あいち産業科学技術総合センターと共同で実施したレーザーを用いた金属/樹脂接合用アンカー構造の形成プロセスについて、2件目は(株)ホワイトインパクトと共同で実施したアルミニウムの積層造形技術について紹介する。

なお、具体的な支援対象企業として輝創(株)によるレーザーを利用した接合界面形成方法である PMS 処理に関する紹介も併せて実施する。



【講演3】 16:30～16:55

「あいち産業科学技術総合センターとの連携による中小企業技術開発事例の紹介」

あいち産業科学技術総合センター 主任研究員 福原徹
主任研究員 津本宏樹
(株) INUI 取締役 大野大輔

あいち産業科学技術総合センターでは、産学行政連携による共同研究の推進、高度計測分析機器を活用した分析評価、および地域中小企業への技術支援をおこなっている。本講演では、当センターの技術支援事例として、(株) INUI による耐火物コーティング材の開発について紹介する。

【閉会挨拶】 16:55～17:00

中部経済産業局 産業技術課長 山田容功